

令和3年度 第1回 大阪市障がい者施策推進協議会
議事要旨

令和3年9月10日(金) 午後2時から午後3時30分まで

会場：大阪市役所 屋上階 P1 共通会議室

【 議題1 令和3年度からの大阪市障がい者施策推進協議会の体制について、議題2 大阪市障がい者施策推進協議会各部会の体制について 】

《 資料1, 2について説明 》

【 議題3 その他(報告事項)障がい児の新たな移行調整の枠組みについて 】

《 資料4について説明 》

【 議題3 その他(報告事項)「大阪市手話に関する施策の推進方針」の改訂について 】

《 資料5-1, 5-2, 5-3, 5-4について説明 》

- ・大きな改定としては、一つはタブレットが全区の方に配置されたということが続けられています。が、なかなか窓口対応の中で、使いにくさだったりということもありますので、また、窓口の方であったり、各区への啓発ということも重要だと考えている。
- ・それと一部の区において、手話通訳者の窓口設置ということも行われていますが、全区にということ、目指していく方向性としてある。
- ・学校との連携というところが一つ課題にはなっており、各小学校・中学校で、取り組みが様々行われておりますけどそういったところの好事例というものを、もう少し集めて、また各区の中において広めていくということが必要ではないかというふうに考えている。
- ・電話リレーサービスなどのICTの部分というのがどんどん出てきますので、情報収集を行いながら状況に合わせて検討会議を継続的にやっていくべきだと思っている。
- ・65歳以下の方がまだスムーズにワクチン接種の予約申込が出来ず、ファックスもなかなか通じないという状況が発生しているようで課題となっている。
- ・登録通訳者と専任の通訳者がおり、専任通訳者は高度な技術を持っている方であり、内容に応じて専任なのか登録通訳者なのか分けていることを理解していただければ嬉しい。
- ・報酬の面で安いからなのかもしれないですが、手話通訳者が高齢化してきており、全国的な課題にもなっている。
- ・ヘルパーも高齢者が多く、支援する側が高齢化してきている。
- ・報酬の面も、大阪は全国で一番安く大阪市は通訳が育たないと思う。
- ・通訳者になりましただけではなく、よりスキルアップできる研修の場を増やす必要があると思う。
- ・ろうあ者にとってわかりづらいではなく、お互いに安心してわかる環境を作ることが必要だと思

う。

- ・手話通訳者の専任通訳者5名、コーディネーター1名でやっているが、専任は学校とか、病院、裁判所とか、警察など難しいところである。
- ・5人で多いか少ないかという事ですが、我々としては専任が増えてくれたらなということですが、先ほど言われた報酬や予算の面も色々大阪市もあるかと思いますが、アップしてもらおうということが必要です。
- ・我々としては専任、専門性があり、聴覚障がい者が安心して何事も任せられ、解決までしてくれるということにおいては、専門・専任が増えれば良いと思っている。

- ・専任通訳者の確保の問題は、若い人をどう巻き込むのか、検討していただけたらと思った。
- ・資料4の障がい児の移行については、大阪市の関連する障がい児の施設の担当者の方に、実際お話を聞かせていただくことがあり、高齢の方がいらっしゃる、その方の移行に向け、色んなプログラムをされたり、担当のコーディネーターの方が、すごく熱心にされている。
- ・措置が利用契約が変わると、費用負担の問題が出てくる。
- ・虐待被虐待児が多く、被虐待児の場合は、いわゆるその精神的な面を含めた、特別なケアが必要になってくることと、強度行動支配系の方はかなりシビアの方がいらっしゃる、その方々を支援してくださる大人の支援プログラムというのは、非常に少ないというか、限られているというところで、これから開発や展開が大事なところです。
- ・施設の方々も頑張らないといけないが、大阪市、特に国には制度の設計を少し考えていただきたいと思っている。
- ・大阪市が一番遅れているように表現されるが、大阪市は基本的に地域で暮らすことを支援する活動等を一生懸命やっているから、なかなか地域で支援される仕組みが見つからない。
- ・一方で、他の都道府県が少ないかという大人施設に送っているだけである。
- ・丁寧にされていることで非常にしんどい様子も起こっているということはちょっと理解すべきである。

【 議題3 その他（報告事項「障害者優先調達推進法」に基づく本市の調達実績について）】

《 資料6について説明 》

- ・コロナの関係で、イベントとかも行けず、自粛しなければならないのに、遊んでおられる方がいて、コロナの感染が広がっているので、ちょっと考えて欲しいなと言う疑問がありました。
- ・みんなも限界もあり、一般の方も障がい者のことも労わってほしいという疑問があります。

【 議題外 ワクチンの接種について】

- ・8月12日現在で、大阪市内の65歳の接種率は、1回目接種済が82%、2回目の接種が76%となっている。
- ・在宅やグループホームの方々の接種の状況は個別に行かれているケースが多いという状況のため把握が困難である。

- ・入所施設の接種状況は、大阪市内で入所施設が 20 か所あり、接種を希望する 65 歳以上の 2 回目接種済の率は 98%となっている。
 - ・また、64 歳以下の方で接種を希望する入所者全体での 2 回目接種済の率は 78%となっていますが、1 回目の接種済の率が全体で 92%となっていますので、概ね入所されている方々につきましては、接種が進んでいると考えています。
 - ・また、施設従事者は、2 回目接種済が 78%、1 回目接種済が 90%となっており、優先接種枠などを活用され、接種が進んでいると考えています。
-
- ・今のワクチンに関してですけれども、大阪市のご報告の通りだと思います。
 - ・大阪市の福祉課の方から、ワクチン接種課の方に話をいただき、4 月から 65 歳以上の高齢の方々の施設に関しては何とかしなくちゃいけないということで、このデータ通りだと思います。
 - ・最終的に個別接種の形で、大阪市内の医師会で手上げていただいて、医師会から直接施設の方に出向き、ワクチンを打ちに行っていましたので、ほぼそれが、8 月いっぱい完了したという報告を受けておりますので、その際は施設の職員の方々も同じように打つと、ただ、近所の先生方のところに直接行ってもらった方が良いという方の場合はそこまで来てもらって打ったということを含めて、ほぼ完了したと。
 - ・ただ、どうしても 64 歳 5 歳以下の方々なかなか進めてないところがありましたが、基本的にその段階で、この 6 月位まで手上げていただいているところの施設に関しては、ほぼそこも進んでいるというふうに聞いておりますのでこのデータだと思います。
 - ・それから施設のスタッフは同様に全て打っていますが、通所サービスはご指摘のとおりこれもずっと話がありました。
 - ・ただ、地域の医師会にお話していただければ、何とか対応しているところだと思いますが、その話がなかったところはなかなか進まなかったと思いますが、しかるべき時期にそれなりの話があったところは、個別接種で進んできているというふうには聞いております。
-
- ・障がいのある方が色んな活動を自粛し、我慢して本当に大変な状態だったことは、我々よく分かっています。
 - ・一方で、若い一部の勝手な連中が色々勝手なことをしていることについて障がい者の活動の立場から言うと、上手に言う必要あると思います。
 - ・若者全部を敵に回してしまうと、共に生きるという共生のイメージが湧かないから、若者の中でも一生懸命キープし、ちゃんと生活を自粛してやっている、多くの若者がいるから、その多くのちゃんとやってくれている若者と連帯したいというふうにご話の方が良いと思いました。